

【テーマ (3)】 宇都宮大学

「新たな教師の学び」の実現に資する教員採用選考試験のあり方
ーコンピテンシーベースの能力観に対応する「教養」の評価ー

調査の概要

◆課題認識

- 新しい時代に相応しい指導力の身に付け方や教養の学び方が教員に求められている。
- 教員採用試験における「教養試験」が、上述の状況に沿うものであるかどうかを確認することが大切である。

◆調査研究の目的

- 全国の自治体における教員採用試験の「教職教養」「一般教養」の出題傾向を明らかにする。

◆調査研究の方法

- 全国の67自治体における教員採用試験の「教職教養」「一般教養」の出題状況を調査した。
- 出題内容を、領域やテーマ等の枠組みに沿って分類し、出題傾向を分析した。

◆結果

- 60自治体より回答が得られ、直近3年間の教養問題を入手した。教養問題を出題していない自治体も相当数あった。

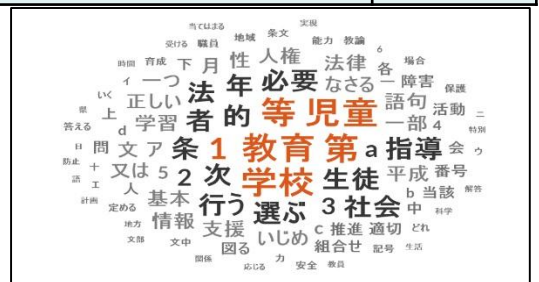
取組のポイント・成果

◆ポイント、成果

- 教職教養では、「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」からの出題が突出して多い(右表)。
- この領域のワードクラウド分析(右下図)で、頻出単語として「いじめ」「障害」「情報」「安全」などが見られ、今日の学校現場における課題に関する理解を評価する傾向が読み取れる。
- 一般教養問題は、中学校や高等学校の諸教科(国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術等)の内容から出題されている。特定のテーマや内容から頻出する教科がある一方で、幅広く出題される教科もあり、特徴は異なっている。

	項目	出題数 (%)
A	教育の理念並びに教育に関する歴史的事項	120 (6.8)
B	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	1,041(58.4)
C	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	135 (7.6)
D	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	112 (6.3)
E	教育課程の意義及び編成の方法	219 (12.3)
F	道徳、総合的な学習の時間に関する問題	18 (1.0)
G	生徒指導の理論や方法に関する問題	94 (4.7)
H	教育相談(カウンセリング)に関する問題	17 (1.0)
I	その他	24 (1.3)

- 一般教養問題で、自然環境や通信技術(IT)など、現代的なトピックの出題も増えつつある。



今後の課題

◆「教養」の望ましい修得の展望

- 出題傾向と教員養成カリキュラムの内容を比較した、教員養成・採用・研修における「教養」の望ましい修得のあり方を展望していくことが求められる。